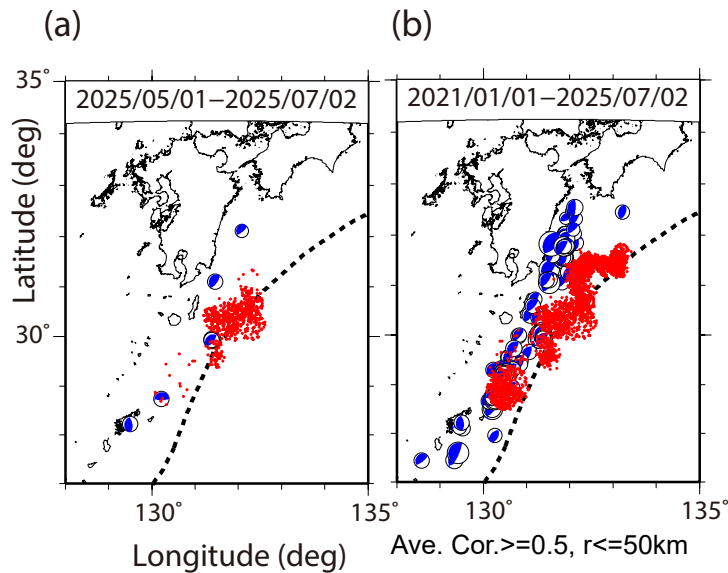
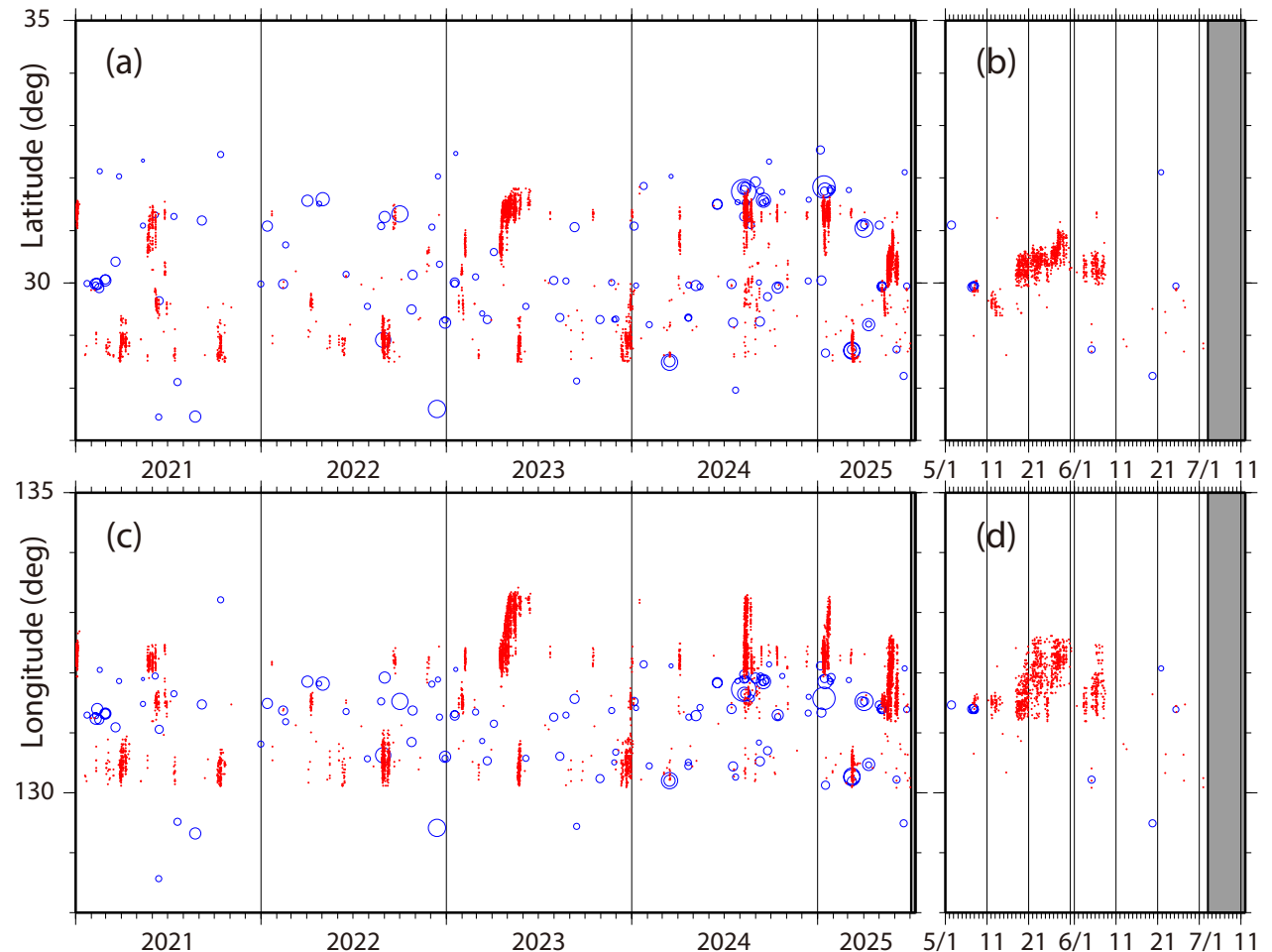


日本周辺における浅部超低周波地震活動（2025年5月～7月） つづき

- 防災科研F-net記録の波形相関解析によって既知の地震・超低周波地震の類似イベントを検出
- 5月上旬、中旬に種子島の南東で超低周波地震、数日の休止の後に種子島の東で活動は活発化して北東方向に移動・拡大、6月上旬には活動は収束



第3図. 波形相関解析 [Asano et al. (2015)] によって検出された超低周波イベントの震央分布. (a) 2025年5月1日から7月2日, (b) 2021年1月1日から2025年7月2日の期間内における検出イベントを防災科研の手動または自動検測震源と照合して通常地震を除去した後、それ以外を超低周波イベントとして赤色点でそれぞれ示す。防災科研F-netによるMT解のうち、プレート間タイプのものを併せて示す。



第4図. 第3図と同じ期間内に検出された超低周波イベントの時空間分布。超低周波イベントを赤色の点で示す。(a)および(b)に緯度分布の、(c)および(d)に経度分布の時間変化をそれぞれ示す。また、(a)および(c)に2021年1月1日以降、(b)および(d)には2025年5月1日以降の分布をそれぞれ示す。青丸印は第3図にMT解を示したイベントを表す。